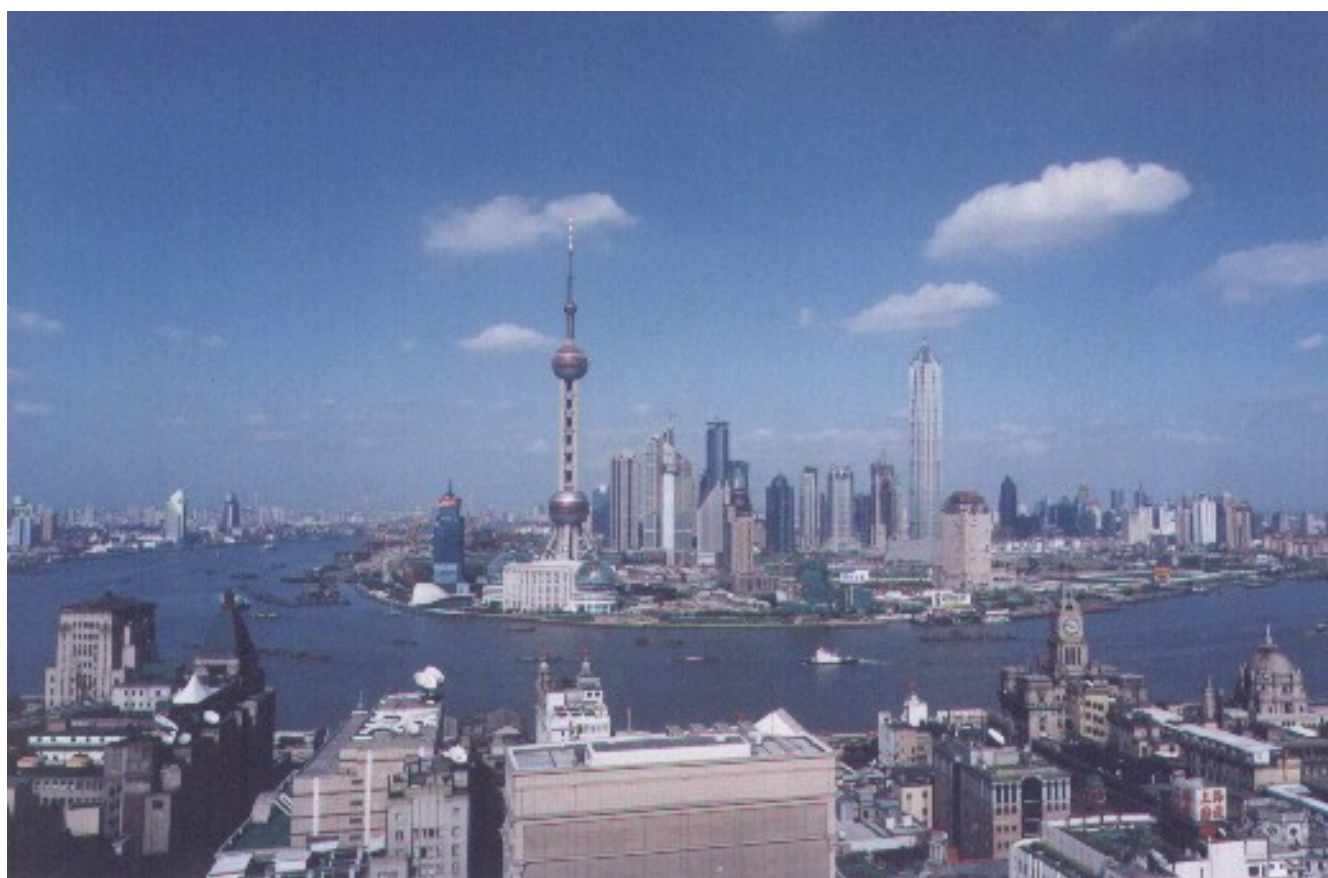


日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) / (財)リバーフロント整備センター 共催

河川再生に関わるミニワークショップ

～ 中国の河川再生と河川環境保全 ～

講師: 李 建華 中国・同済大学 長江水環境教育部 教授



上海黄浦江 (写真提供: 李 教授)

日 時 : 2008年1月21日(月) 15:00 - 17:00
会 場 : 財団法人リバーフロント整備センター 会議室
東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル3階
参加費 : 無料
共 催 : 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
財団法人リバーフロント整備センター(RFC)

河川再生に関わるミニワークショップ

～ 中国の河川再生と河川環境保全 ～

プログラム

- 開会 (15:00) 挨拶 (財)リバーフロント整備センター
- 講演 (15:00～17:00)
15:00～16:00 「中国の河川再生と河川環境保全」について (李 建華 教授)
- 16:00～17:00 質疑応答・意見交換
- 開会 (17:00) 閉会

講師紹介 (李 建華 教授)

同济大学教授 (中国・上海)、長江水環境教育部重点実験室副主任・上海市科学委員会崇明水環境実験室主任

略歴

1983 年	中国遼寧大学卒
1990 年 1 月～1996 年 3 月	日本留学
1993 年 3 月	信州大学理学修士課程修了
1996 年 3 月	東京都立大学理学博士号取得
1996 年～2003 年	建設省土木研究所環境部研究員・(独)土木研究所水循環グループ専門研究員
2004 年～	同济大学教授

研究分野

河川・湖沼の水環境

現在の研究テーマ

河川・湖沼の水質モニターリングと評価・水環境の浄化機能評価と修復技術

講演要旨

中国の河川再生と河川環境保全

李 建華 中国・同济大学 長江水環境教育部 教授

中国において多くの河川の規模が日本の河川の規模より大きく、流域面積が 1000 平方キロ以上の河川は 1500 余本あります。長江は中国最大・世界 3 番目の大河で、長江流域において日本の利根川の規模を超える支川は 12 本あります。

日本の「多自然川づくり」は中国語で「生態河流建設」・「生態河道建設」或は「河道生態修復」・「河道生態整治」と名付けられていますが、地域の経済状況は大きく異なるため、コンクリート護岸のような硬質護岸をされていない中小河川が多く残されています。

中国の河川再生は、基本的には欧米諸国と日本から学び、本格的な河川再生事業は 2000 年以降 (第 10 次五ヵ年計画) に開始されました。しかし、中国の河川再生はまだ初期段階に入ったばかりで、水質改善と水辺景観づくりに目指したものが多く、河川の複合的な機能 (治水・利水・生態環境と景観) の回復に関する事例はまだ少ないのが現状です。中国の河川再生に関する学術論文検索の結果により、2007 年年末時点での論文の数はすでに 2,100 本にのぼり、工法・パイロット実験及び事例の紹介から実験及び事業の効果評価まで及んでいます。2000 年以前の論文もありますが、殆んどは外国の河川再生に関する紹介のレビュー論文が中心です。

本講演では、中国の水資源と水環境の現状を踏まえながら、中国の河川再生の事情、河川再生に関する技術研究の進展状況、問題点分析、及び将来計画などの話題を提供させていただきます。